

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会  
平成26年度 第1回評議員会議事録

日 時 平成26年5月31日(土) 10:00~11:00  
会 場 キャンパスプラザ京都 2F 第3会議室

出席者 [現在数12名、定足数7名、出席者数10名]  
荒巻隆三、一守益男、植田喜裕、國友政治、鈴山勝彦、長谷川英文、福原 洋  
西村伸次、山崎伊佐緒、山科隆雄

欠席者 三宅常久、峯森 章

参席者 理事長 荒巻禎一  
理事 八木 茂、大西孝雄、柳澤 傳、篠田恒夫、中村三之助  
監事 石田松太郎

議 案 第1号議案 平成25年度 事業報告書の承認の件  
第2号議案 平成25年度 決算報告書の承認の件  
第3号議案 公益目的支出計画実施報告書の承認の件  
第4号議案 理事・監事・評議員の選任の件

開会宣言 八木 茂常務理事より開会宣言。

挨拶 荒巻禎一理事長より挨拶

◇昨年度振興会としてのメインの行事は、

- ①世界スカウト財団名誉総裁カール16世グスタフ・スウェーデン国王の入洛による、第66回世界財団晩餐会の京都開催に対する地元としての支援活動。
- ②前回の会議終了後(3/9)に連盟の協力を得て開催した「京都スカウト活動報告会」である。

◇スカウト活動報告会を開催した趣旨は、次の3つである。

- ①スカウトの進歩章の最高峰である富士章の受章者方に個人の進歩に対する取り組みを後輩へ伝えていただきたい。
- ②海外派遣体験者の発表の場が必要である。
- ③世界財団の晩餐会の運営を下支えしたローバースカウトの皆さんの活躍を晩餐会当日、目の当たりにし、その存在感をアピールする場を提供したい。

◇当日発表してくれた諸君は、スカウト活動を続ける「ロールモデル」、後輩スカウトの「憧れの的」です。彼らにスカウト活動を究めたという意識を払しょくしてもらい、今回の報告会を契機に、さらに自己成長に挑むとともに、「後輩の育成と地域社会への参画」に積極的に取組んで頂くことが目的である。

◇そのような活動が定着すれば、ボーイスカウト運動が京都府民・市民の方々から地域社会の教育力として再認識していただければ、スカウト数の減少に歯止めをかけることが出来る。

#### [第1号議案] 平成25年度 事業報告書の承認の件

八木常務理事より、同議案につき、別紙事業報告書に基づき次の内容説明及び諮問がなされた。

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業について事業費として、2,300千円を支出した。この内、1,000千円は、京都連盟が第16回日本ジャンボリーへ366名を派遣されたことに対する支援助成費用である。残額の1,300千円は、京都連盟の進歩費、国際費、安全費、環境費、コミッショナー費、イベント費、ボーイスカウト講習会及びウッドバッジ実修所・研修所運営費等に必要となる事業費の一部に対して助成した。

ボーイスカウト講習会及びウッドバッジ実修所・研修所の実施状況は2ページの上段に掲載されている通りである。

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業について

当法人が所有する広河原野営場の使用実績は、19日間、のべ人数459名であった。体験活動に参加した対象者、使用人数等の詳細については、お手許資料の事業報告書に記載の通りである。費用的には建物減価償却費80千円・固定資産税4千円が主なものである。広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得検討案に関しては、所有者との協議を継続中であるが、前々年の会計期間に実施された広河原野営場の整備（京都西ライオンズクラブからトイレ及びシャワー施設寄贈、振興会費用負担のアセビの植樹等）によってキャンプ生活面の環境整備等の配慮がなされていますが、使用実績については整備前と比較しても、さほど増加が見られないので、取得の必要性に関してさらに議論が必要と思われる。

(3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業について

本年度は、3月9日に青少年のためのリーダーシップトレーニングの場として、「京都スカウト活動報告会2014」という形式で、スカウトのロールモデル的な活動にチャレンジした者に活動発表の場を提供しました。事業費として、会場費等約60千円を

支出した。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業

(ア) 国際交流・国際貢献活動支援につき、

世界スカウト財団第 66 回 BP フェロシップイベントが 11 月 26 日から 30 日に京都にて開催、世界スカウト財団名誉総裁カール 16 世グスタヴ・スウェーデン国王の入洛による、第 66 回ワールドベーデン-パウエル フェロシップ晩餐会の後援団体として、地元京都地域からの招待者を含め 160 名を超える方々のご参会に関して協力を行うとともに、最終日に下賀茂神社境内「紵の森」で開催された京都連盟創立 100 周年スカウトラリーをサポートし、グスタヴ名誉総裁以下 BP フェロシップメンバーをお迎えし、京都のスカウト達との交流を実施した。事業費として、189 千円を支出し、招致費用として、招待者参会費用を 333 千円負担し、管理費項目で処理を行う。

(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業について

事業費実績として普及宣伝費 24 千円、ホームページ運営改革費 378 千円、通信運搬費 34 千円、印刷製本費 38 千円など 504 千円を支出した。

その他、賛助会費の受取会費合計の推移については、お手許の資料をご覧ください。

平成 24 年度は 12 ヶ月換算では 2,310 千円に増加したものの、平成 25 年度は、2,190 千円と前年度比 120 千円の減少となった。

引き続き、役員の皆様方には、21 世紀を担う青少年の健全な育成の場としてのボーイスカウト運動を、地域社会の方々の認識を高めるのにご尽力をいただき、広く財政的援助を頂戴していただけるよう努力して頂き、維持会員数の拡大に一層のご協力をお願いする次第である。以上で報告を終了致します。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認、可決された。

[第 2 号議案] 平成 25 年度 決算報告書の承認の件

樋口公認会計士より、同議案につき、別紙決算報告書に基づき説明及び諮問がなされた。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認、可決された。

[第 3 号議案] 公益目的支出計画実施報告書の承認の件

樋口公認会計士より、同議案につき、別紙公益目的支出計画実施報告書に基づき説明及び諮問がなされた。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認、可決された。

また、公益目的支出計画委実施報告書について、軽微な修正については、常務理事一任することで出席役員全員一致で承認された。

さらに、広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得に関して、今後の所有者との交渉継続及び購入条件等については、常務理事に一任することで、出席役員全員一致で承認された。

[第 4 号議案] 理事・監事・評議員の選任の件

議長より、理事の方の任期について、新法人移行後は 2 年と定められており、現理事の方全員につき、本日付で改選しなければならない。次の方を選任することを提案します。

荒巻禎一様、羽生田寂裕様、八木 茂様、吉田忠嗣様、北尾哲郎様、大西孝雄様、川西通夫様、篠田恒夫様、中村三之助様の再任と新たに下鴨神社の宮司 新木直人様を選任したいと存じます。

また、柳澤 傳様は任期満了により退任されます。なお、柳澤 傳様につきましては、理事退任後、監事に選任したいと存じます。

現監事の小林哲夫様が、本年 10 月で裏千家を退職なさいますので、この度、5/31 付で辞任される旨、辞任届を提出されました。柳澤 傳様を後任監事に選任したいと存じます。

次に評議員につき、新たに高林伸樹様を選任したいと存じます。

議長は出席役員一同に質問及び意見を諮ったところ、出席役員全員一致で承認、可決された。

以上を以って、議事をすべて終了し、議長は閉会を宣した。

この議事録が正確であることを証明するために、出席した議長及び議事録署名人は次のとおり記名押印する。なお、軽易な文言の修正は、議長に委任する。

平成26年5月31日

一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会

議 長 山 科 隆 雄 ⑩

議事録署名人 福 原 洋 ⑩

議事録署名人 山 崎 伊 佐 緒 ⑩

議事録作成者 一般財団法人 京都ボーイスカウト振興会  
常務理事 八木 茂